

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成31年1月11日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：関長官官房広報室長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○関広報室長 今日は、広報室長の関のほうから広報日程について説明させていただきます。

それでは、お手元の資料の1ページ目を御覧ください。

今日は2.の（2）から御説明させていただきます。第670回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合でございます。こちらにつきましては、東北電力・女川発電所2号機の防潮堤の構造健全性について、事業者から質問への回答があり、議論をする予定でございます。

なお、この会議につきましては、土木構築物を扱いますため、山中委員のほかに石渡委員も対応する予定でございます。

続きまして、2ページ目でございます。

（5）第9回環境放射線モニタリング技術検討チーム会合でございます。こちらについては、大きく議題は2つございます。

議題1につきましては、専門的な放射能測定法シリーズの技術的な測定事項についての改訂にかかわる検討を行う予定でございます。

また、議題2につきましても、こちらにつきましては、前回の会合の際にドラフトをお示しし、議論を行ったところでございますが、今回もその続きといたしまして質疑応答を行う予定にしております。

続きまして「3.委員の現地視察について」でございます。

1月18日金曜日に、日本原燃株式会社・再処理施設の現地視察がございます。こちらにつきましては、山中委員のほうが現地に赴きまして、主に再処理施設の現状といたしまして、新緊急時対応所、保管庫、高レベル廃液ガラス固化建屋、プルトニウム混合脱硝建屋などについて視察を行います。

また、日本原燃との意見交換のほうを予定しております。こちらについては、別途配布をしていますとおり、取材のほうは可能でございます。

私からの説明は以上でございます。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手をお挙げください。どうぞ。

○記者 NHKのオオサキです。

最後の視察のところですけども、山中委員が視察をされるというところで、これは他の委員の中でもとりわけ山中委員が御視察されるということには、何か位置づけというか、意味があるのですか。

○関広報室長 こちらにつきましては、山中委員自身は日本原燃の再処理施設等についての審査は直接は行っておりませんが、当然のことながら、この後、原子力規制委員会等において審議をされる場合については、この施設も、当然、山中委員を含め審議を行うこととなりますので、そういう点も含めまして、委員のほうで順次視察を行っているというところでございます。

○記者 分かりました。

○司会 ほかに御質問の方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—